

成果報告書

報告者： 秋山美紀(環境情報学部教授)

活動名：ヘルスコミュニケーションウィーク 2024

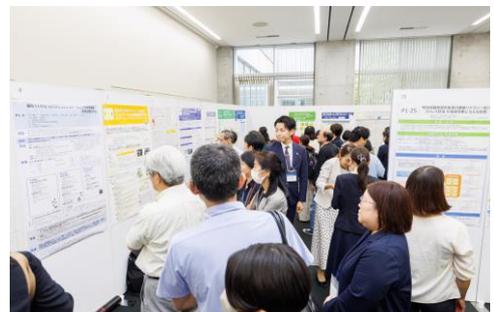
開催期間：2024年9月28日～29日

開催場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 独立館1階・2階

【活動概要】健康・医療のコミュニケーションを基盤とする9つの学会を一同に集めての学術集会「ヘルスコミュニケーションウィーク 2024」を日吉キャンパスにて開催し、約390名が参加した。実行委員会は、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科と義塾内の他学部や他研究科の教員で組織した。統一テーマを「生活の場と保健・医療・福祉をつなぐヘルスコミュニケーション」とし、日常生活の中で生活者を基点として、教育・行政・保健・医療・福祉などに関わる様々な職種が組織を超えてつながるためのコミュニケーションのあり方について、活発な交流が行われた。本学術集会開催にあたり、2つのシンポジウム会場とポスター会場の計3会場用の教室を日吉キャンパス独立館内に借用し、その会場費の一部をSFC学会からいただいた助成金で賄った。

【プログラム報告】

2日間の学術集会では、大会長講演、特別講演と、9学会による10のシンポジウムが行われた。一般演題は、第1日、第2日ともに、ポスターセッションを中心としながら、事前査読で優秀演題を選びプレナリーセッション(各5演題)を2日にわたって開催した。ポスターセッションでは、政策・メディア研究科や健康マネジメント研究科の大学院生らも発表を行い、看護医療学部、総合政策学部、環境情報学部の学生も多く参加し、学内外の参加者と交流し、知見を深めた。



【9月28日(土)】

午前9時より、日本看護コミュニケーション学会と日本歯科コミュニケーション学会がそれぞれ「看護におけるコミュニケーションの現状」、「歯科におけるコミュニケーション教育の取り組み」と題したシンポジウムを開催し、職種間コミュニケーションの課題を共有した。

10時35分からの開会式に続いて、総大会長の秋山美紀による大会長講演「生活の場と保健・医療・福祉をつなぐヘルスコミュニケーション」、基調講演として在宅医療を提供しながら地域住民の保健福祉の拠点づくりに取り組むオレンジクリニックの紅谷浩之氏が「医療モデルから生活モデルそして社会モデルへ - ケアの文化拠点に巻き起こるコミュニケーション」と題した講演を行い、その人らしい暮らしを支える



ためのコミュニケーションの重要性を共有した。

午後は、実行委員会企画シンポジウム「医療と生活をつなぐ場としての図書館」では文学部教授の池谷のぞみ氏をファシリテーターに、各地の図書館司書や医療者が活発に意見を交わした。

さらに、一般演題セッションを挟んで、日本医療コミュニケーション学会と日本医療通訳学会がそれぞれ「医療コミュニケーションにおける 速さと深さの+—臨床推論、問診場面、人類学的ケーススタディ」、「大学における医療通訳教育」のシンポジウムで、各現場の現状と課題を共有した。

【10月29日(日)】

朝9時より、日本ヘルスリテラシー学会シンポジウム「健康行動の変容を促すナッジ×ヘルスリテラシー」、日本ヘルスマーケティング学会シンポジウム「ソーシャルマーケティングの可能性—どのような社会的価値を共創するのか—」が開かれた。続く、実行委員会企画シンポジウム「患者参加医療における共同意思決定の役割と課題」では、看護医療学部准教授の大坂和香子氏が座長を務め、慶應義塾大学病院の取り組みも発表され、会場は満席となった。



午後は、優秀一般演題を集めたプレナリーセッションとポスター交流タイムを経て、日本医学サイエンスコミュニケーション学会による「ゲーミフィケーションと医学サイエンスコミュニケーション」、日本メディカルコミュニケーション学会による「臨床・疫学研究におけるデータシェアリングの現状と今後」という2つのシンポジウムが平行開催され、多分野の研究者が意見を交わし、知見を深めあった。16:45から閉会式が行われ、優秀演題の表彰式等が行われ、2日間にわたる学会の総括が行われた。



2日間を通しての参加者(申込者数)は387人であった。大会は、オンサイト(現地)開催の後、10月10日より1か月間、全シンポジウムをオンデマンド配信しており、多くの人に視聴いただいている。

【謝辞】

この学術集会の開催にあたり、慶應SFC学会からの会場費の補助として助成金をいただいたことに深く感謝申し上げます。おかげさまで、学内外の分野を超えた多くの研究者が集まり、交流し、知見を深め合うことができました。また、慶應義塾のキャンパスや学部・研究科を超えた学生も多く参加し、他校の参加者と交流し、実践と研究の両輪の重要性やその進め方について刺激を受けることができました。

